

ABC

Asahi Broadcasting Corporation

会社案内

第88期
事業のご報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日



朝日放送株式会社

社長メッセージ



代表取締役社長

脇阪 聡史

常日頃より、朝日放送グループへの格別のご愛顧とご支援を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

この度、第88期事業のご報告(平成26年4月1日～平成27年3月31日)がまとまりましたので、ここに当期の業績の概要をご報告申し上げますと共に新たな「グループ中期経営計画2015-2017」についてご説明いたします。

当期の日本経済は、日銀の積極的な財政金融政策を背景に、ゆるやかな回復基調で推移しましたが、消費税増税や夏季の天候不順の影響など、個人消費の伸び悩みにつながる要因もみられました。

そのような状況下において、当社の業績は、テレビスポット収入や催物収入及び子会社の通販部門の減収等の要因により、連結、個別共に減収減益となりました。課題をグループ全体で共有し、スピード感を持って解決してまいります。

既にお知らせしましたように、当社は、昨年10月、東証一部上場企業の仲間入りを果たしました。さらなる飛躍への新たなステージに立った今、メディアとしての責任に加え、当社グループをご支援いただいている皆様への責任を改めて重く受け止めています。

当社を取り巻く経営環境は、近年大きく変化しています。地上波放送・衛星放送を含めた視聴環境の変化、スマートフォン・タブレット端末の普及によるテレビ視聴形態の変化、4K・8Kなどの技術革新など、かつてないほどの変革の中に置かれています。当社グループは、一丸となってコンテンツ制作力を一層強化すると共に、激しく変化するメディア環境に対応し、経営基盤の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

引き続き朝日放送グループへのご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成27年6月

連結業績ハイライト

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



2014年度を振り返って…

「世界へ」と共に、次世代に向けた トライアルに注力した1年

2014年度は、前年度をさらに上回る成果を目指して臨みましたが、視聴率、売り上げ共に、厳しい戦いを強いられた1年でした。

基幹事業の放送事業において、テレビ視聴率は、プライム2で、当社制作番組が安定した視聴率を獲得し、13年連続でトップを守ったものの、全日・ゴールデン・プライムの3区分で、残念ながら他局の後塵を拝した結果となりました。当社発の全国ネットプライム3番組が、年度の平均視聴率で10%を超えたことや、土曜午前の「正義のミカタ」の視聴率が上昇傾向であること、「おはよう朝日です」が好調を維持したことなど、順調に推移した部分もありましたが、主力のスポット収入はシェアダウンにより減少しました。催物収入においても、京都・二条城での「アートアクアリウム城～京都・金魚の舞～」等で大成功をおさめた反面、「サマーソニック2014大阪」の入場者数が大幅に減少したことが、減収要因となりました。

一方で、攻めの姿勢を前面に押し出した試みにも取り組んできました。

ラジオは昨春、自社制作率、生放送率を上げるなど、大幅な改編を行ったことが新たなリスナー層の開拓につながり、

6月の聴取率調査で、週平均、平日平均、平日ゴールデンタイム平均の3区分で、3年ぶりに三冠を奪還、12月も連続して三冠に輝きました。

コンテンツ事業では、海外を含めた番組販売やフォーマット販売、深夜アニメ事業の収益が大幅な伸びをみせ、売上高は、昨年と比べて倍増です。「世界へ」の布石を打って来た結果が出始めています。また、インターネットサイト「バーチャル高校野球」を大幅にリニューアルし、モバイル端末へとライブ配信の範囲を拡げたり、将来の4Kでの番組放送を見据えた「4Kクラシックコンサート」を収録するなど、次世代に向けたコンテンツ制作にも注力しました。

ハウジング事業は、住宅展示場や大阪・神戸のハウジングデザインセンターの運営で、売り上げが好調に推移し、売上高が17年ぶりに100億円を超えました。

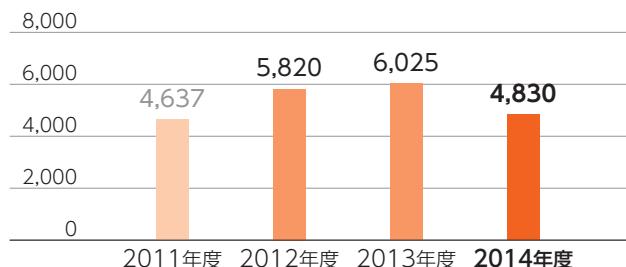
ゴルフ事業において、ABCゴルフ倶楽部は、前年度に実施した会員権販売の反動減により減収という結果となりましたが、全国屈指のトーナメントコースとして、「マイナビABCチャンピオンシップ」に加え、「LPGAステップ・アップ・ツアー ABCレディース」の開催会場となり、ABCゴルフ倶楽部の知名度が格段に上がったものと自負しています。

「グループ中期経営計画2012-2014」の3か年を総括

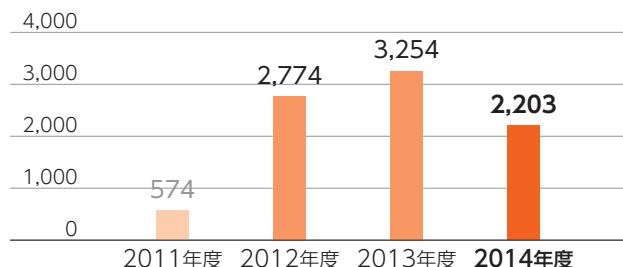
「ありがたい姿」の実現に向けた歩み

2012年、社員の発案により、会社の「ありがたい姿」として、

経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



「関西ナンバーワン、世界へ」「家族をつなぐエンターティナー」「OPEN↑ 楽しいABC!」の3項目からなる「朝日放送10年ビジョン」を設定しました。以来3年、このビジョンは社員一人一人の心構えとして深く浸透し、当社グループの事業活動を支えてきました。

「ありがたい姿」の実現に向けた最初のステップである「グループ中期経営計画2012-2014」では、初年度・2年度と目標を大きく上回る素晴らしい成果をあげることができました。

初年度は、テレビ視聴率で、全日・ゴールデン・プライム・プライム2の4区分すべてで他局を圧倒し、「年間・年度四冠」を成し遂げました。これは開局以来の快挙でした。

2年目も、テレビ視聴率が好調に推移し、「関西ナンバーワン」であり、「家族をつなぐエンターティナー」としての存在感を強くアピールできたのではないかと考えています。

業績も、好調な視聴率を背景に、通期でテレビスポットシェアが在阪4局中1位という結果を残すことができました。結果として、2年連続で個別・連結共に増収増益を達成することができました。

最終年度は残念ながら前年を上回ることができず、3年間全体としては中計開始前より一定の成長を見たものの、課題を残した3年でもあったと考えています。

新たなフロンティアとして開始した「世界へ」の取り組みは、アジアやヨーロッパでの販路の開拓により、この3年間で売

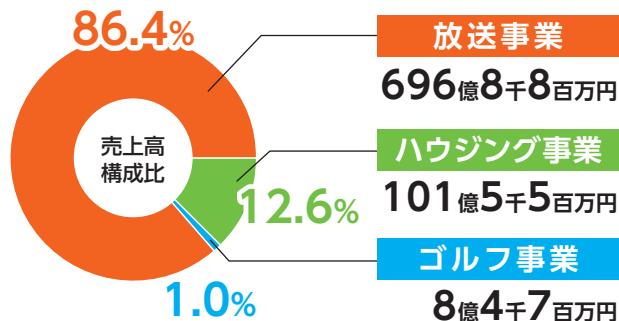


上高を約3倍に伸ばしました。当社のコンテンツを全世界に発信し、「関西ナンバーワン、世界へ」を謳う「10年ビジョン」の実現に大きく踏み出した結果と自負しています。

また、「OPEN↑ 楽しいABC!」であることを目指し、視聴者やリスナーと肌感覚で触れ合うことにも注力しました。特に「あえる・ふれる・つながる」を合言葉に開催した「ABC感謝祭 マイドほたるまち!」は、社屋周辺に非常に多くの皆さんにご来場いただき、「ありがたい姿」を実現した一つの形だと考えています。

「10年ビジョン」を掲げてスタートした「グループ中期経営計画2012-2014」を通して、当社グループの一体感がなお一層強固なものとなったと考えています。このことは、次のステージにおけるさらなる飛躍の礎になるものと確信しています。

セグメント別 売上高



朝日放送10年ビジョン

A. 「関西ナンバーワン、世界へ」

関西に根ざし、世界に向かって総合的な文化と情報を発信するリーディングカンパニー。

B. 「家族をつなぐエンターティナー」

親しみやすく、信頼されるコンテンツで人をつなぎ、地域をつなぎ、家族をつなぐ。

C. 「OPEN↑ 楽しいABC!」

情報共有された、愛のあふれるオープンな会社。

「グループ中期経営計画2015-2017」

「成長ビジョン」達成へ向け、「打って出る」

当社グループは中核事業である放送事業において「平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくすこと」「社会の信頼にこたえ、真実を正しく伝えること」「良識と知性を高め、楽しさと安らぎの番組を放送すること」等を信条に、基幹メディアとしての役割を果たすべく努力を重ねています。

当社は、創立65周年を来年に控えていますが、これはひとつの通過点でしかありません。放送事業をとりまく環境が激しく変化中、さらなる先を見据え、「100年企業」を視野に、グループ一体となって一層の成長を目指す必要があると認識しています。

今般、グループ全体で目指す大きな方向性として、「朝日放送グループ成長ビジョン」を設定しました。「10年ビジョン」の終着点であり、かつ当社が創立70周年を迎える2021年度に、「連結売上高1,000億円・営業利益率8%」の企業グループに成長するイメージを、「100年企業」への布石として共有してまいります。

本年度からスタートする新たな「グループ中期経営計画2015-2017」は、創立65周年を迎える2016年をはさむ3年間の経営計画です。これからの3年間を、新しいコンテンツの開発や新規事業への投資を積極的に行い、その先にある大きな成長に向け経営基盤を整備する期間と位置付けています。

具体的な戦略目標として5項目を掲げ、「朝日放送グループは、いま、打って出る」を合言葉に、皆様のご期待にお応えすべく、グループ一丸となって努力してまいります。

成長ビジョン

2021年度 朝日放送70周年
連結売上高 1,000億円 営業利益率 8%

2015-2017の「戦略目標」

1. グループ一丸となって視聴率トップ、聴取率トップ、売上げトップを確固たるものにする。
2. メディア環境の変化に対応し、コンテンツ制作を充実させる。
3. ABCグループ・ファンのさらなる拡大を図る。
4. グループ全体最適の業務配置と人材配置を行う。
5. 新規事業に果敢にチャレンジし、海外戦略を強化する。

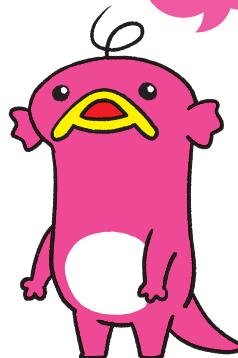
2017年度 業績数値目標（連結）

売上高	84,500	百万円
営業利益	5,000	百万円
経常利益	5,200	百万円
売上高営業利益率	5.9%	

ABC新キャラクター「エビシー」誕生!

今後とも
よろしく
お願いします!

創立65周年に向けて、ABCの新キャラクターが誕生しました! ABC社屋の前を流れる堂島川に住む「エビシー」(男の子・6歳)が、今後、ABC、さらには大阪、関西を盛り上げていきます! 可愛いエビシーにご注目ください!





当期の世帯視聴率は、全日帯7.5%、ゴールデン帯11.3%、プライム帯12.1%、プライム2帯8.8%となりました。プライム2帯は2002年度以降13年連続首位を保持しています。

全国ネット番組

当社制作全国ネット番組のプライム3番組の当期平均視聴率は、いずれも10%を超え、安定した成果を収めています。単発番組では、元日恒例の人気番組「芸能人格付けチェック!2015」が自己最高記録を更新し、3年連続で、関西地区における正月三が日の視聴率No.1番組となっています。当期に3回放送した「明石家さんまのコンプレックス杯」は平均14.9%となり、人気の単発番組となっています。



火曜午後8時

10.9%

(当期平均)



金曜午後9時

12.9%

(当期平均)



日曜午後7時58分

11.5%

(当期平均)



2015年1月1日放送

23.4%



2014年5月、12月、2015年3月放送

14.9%

(当期平均)

※視聴率は関西地区 ビデオリサーチ調べ

全日帯…午前6時～午前0時 ゴールデン帯…午後7時～午後10時 プライム帯…午後7時～午後11時 プライム2帯…午後11時～午前1時

ローカル番組

朝帯・深夜帯のベルト番組が引き続き好調で、視聴者の皆様から高い支持を得ています。当社は、朝の情報番組を全て自社制作する関西唯一の放送局としての強みを発揮し、「おはよう朝日です」は、この時間帯の横並びトップを堅持しています。深夜23時台の番組も、「ナイトinナイト」(月～木曜)、「探偵!ナイトスクープ」(金曜)、「なるみ・岡村の過ぎるTV」(日曜)はいずれも横並びトップとなり、プライム2帯トップの地位をゆるぎないものにしています。

大型スポーツ特番

「FIFAワールドカップ・日本×コロンビア」が当期関西地区民放トップとなる35.2%の視聴率を記録しました。また、地元球団である阪神タイガースが9年ぶりに進出した「日本シリーズ・阪神×ソフトバンク」では、初戦の中継を制作・放送し、当期の野球中継として関西地区最高となる25.7%を獲得しました。



金曜午後11時17分

15.7%

(当期平均)



日曜午後11時15分

8.8%

(当期平均)

2015年4月番組改編

4月から、ABCの朝と夕方顔が変わりました。朝の看板番組「おはよう朝日です」は、5年ぶりの新MCとなり、岩本計介アナウンサーが担当。夕方のニュース情報番組「キャスト」は、3月まで「おはよう朝日です」で人気を集めた浦川泰幸アナウンサーが担当し、視聴者目線で「忙しい夕方にやさしいニュース」をお届けします。さらに、番組開始40周年を迎える「パネルクイズ アタック25」の3代目司会者には、俳優をはじめ、様々なジャンルで活躍中の谷原章介さんをお迎えしました。ABCは今後も、視聴者の皆様に愛される、魅力溢れる番組をお届けします。



月～金曜午前6時45分 月～金曜午後4時58分



日曜午後1時25分



当期のラジオ聴取率は、6月と12月の調査において、週平均、平日平均、平日ゴールデンタイム平均すべてで首位を獲得、2期連続三冠を達成しました。2014年春に平日深夜帯を自社制作の生番組にするなど大改編を敢行し、その成果が表れた結果となりました。

ラジオイベント

毎年恒例のイベントとして、秋の「ABCラジオまつり2014」（4万人来場）、春の「ABCラジオスプリングフェスタ2015」（2万6千人来場）は、多くの人で賑いました。また、1月31日に開催されたイベント「第113回上方落語をきく会」を生中継し、この日は8時間30分にわたって落語一色でお送りしました。



「ABCラジオまつり2014」
11月16日
万博記念公園お祭り広場にて開催



番組コラボ商品

「桑原征平 粋も甘いも」のお弁当シリーズ第7弾が22万食、「ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です」がびっくりドンキーと組んだコラボハンバーグ第3弾は7万6千食を超え、いずれもシリーズ最高売上げとなりました。11月には「武田和歌子のぴたっと。」がサークルKサンクスと組んで発売した「武田和歌子の肉好きうどん」が15万食を売上げ、好評を博しました。



「武田和歌子の肉好きうどん」

新番組

ABCラジオでは久々の全国10局ネットの新番組「道上洋三の健康道場」が10月にスタートしました。各界の第一線で活躍する方をゲストに招き、元気の秘訣を教わる番組です。12月の聴取率調査で1.7%を獲得し、好調な滑り出しとなっています。



土曜午前7時

※聴取率は関西地区 ビデオリサーチ調べ
週平均…月～日曜 午前5時～翌午前5時

平日平均…月～金曜 午前5時～翌午前5時

平日ゴールデンタイム平均…月～金曜 午前6時～午後6時



イベント

大ヒット企画となった「アートアクアリウム展」は、場所を京都・二条城に移し、「アートアクアリウム城～京都・金魚の舞～」を開催しました。夜間のみ、国宝の庭園での野外展示という大胆な試みでしたが、29万人を集客。好評につき、2015年秋も同場所での開催が決定しています。



「アートアクアリウム城～京都・金魚の舞～」
10月24日～12月14日開催

出資映画

「相棒-劇場版3-」が興行収入21億円のヒット、「STAND BY ME ドラえもん」は83億円のヒットとなりました。映画「STAND BY ME ドラえもん」との相乗効果で、夏に開催した「藤子・F・不二雄展」は14万人を動員し、大きな利益を得ました。



©2014 「STAND BY ME ドラえもん」製作委員会

「STAND BY ME ドラえもん」8月8日公開

スポーツイベント

7月に日本女子ゴルフ協会との共催で、第一回「LPGAステップ・アップ・ツアー ABCレディース」をABCゴルフ倶楽部で開催。アマチュアの堀琴音選手が初出場・初優勝を果たし話題となりました。2015年からは冠スポンサーが付き、大会名「LPGAステップ・アップ・ツアー 日本臓器製薬レディース ABC杯」として、7月1日、2日に開催が決定しています。

その他事業

黒柳徹子主演「ルーマーズ」や中国のヤン・リーピン
の舞踊劇、蜷川幸雄の「ハムレット」「ジュリアス・
シーザー」、森山未來主演「プルートの」など、各種
舞台は好評につき完売。クラシック事業では、辻井伸行
をはじめ、キーシン、ランラン、ズービン・メータなど、
ビッグネームの来日公演を成功させました。



モバイル・PC事業

高校野球サイトを全面リニューアルした「バーチャル高校野球」が大きな話題となり、サイトの集客数や動画再生数などが大幅に増加し、広告収入が飛躍的に伸びました。また、高校野球をさらに多くの方に楽しんでいただくため、2015年7月、「バーチャル高校野球」は朝日新聞社との共同事業により、新しく生まれ変わります。ライブ中継動画やスコア速報など、より豊富な情報をお届けします。

また、在阪他局に先駆けて、局独自の情報発信アプリ「ABCアプリ」を立ち上げました。番組関連情報の発信やイベント連動企画など、視聴者サービスの充実を図っています。



ABC高校野球サイト「バーチャル高校野球」



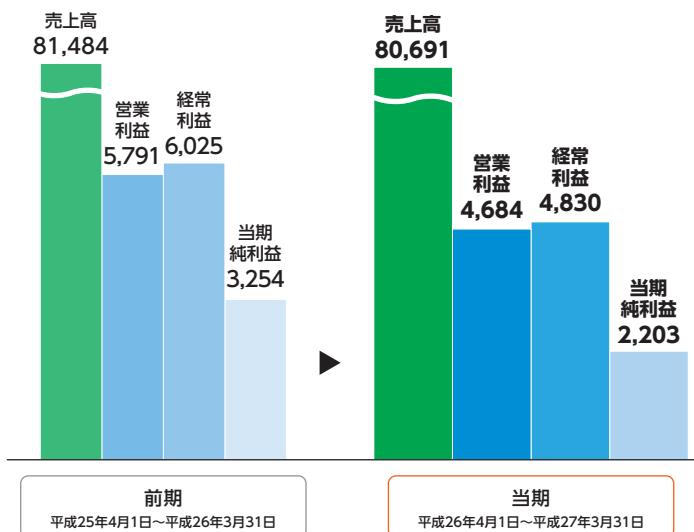
ライブ配信もマルチアングルで切り替え可能!

海外ビジネス

香港、台湾、タイなどのアジア各国への番組販売が引き続き好調です。「大改造!!劇的ビフォーアフター SEASONII」「たけしの健康エンターテインメント!みんなの家庭の医学」など全国ネット番組をはじめ、「探偵!ナイトスクープ」「LIFE」などローカル番組も人気で、この2年で約2.8倍の売り上げとなりました。当期は、韓国、中国への販売が成立し、カンボジアやインドネシア、ミャンマーなどの新たな販路の開拓にも成功しました。アジアのみならず欧米のメジャーな制作会社等とのフォーマット共同開発や販売取引にも果敢にチャレンジしています。

連結財務諸表

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

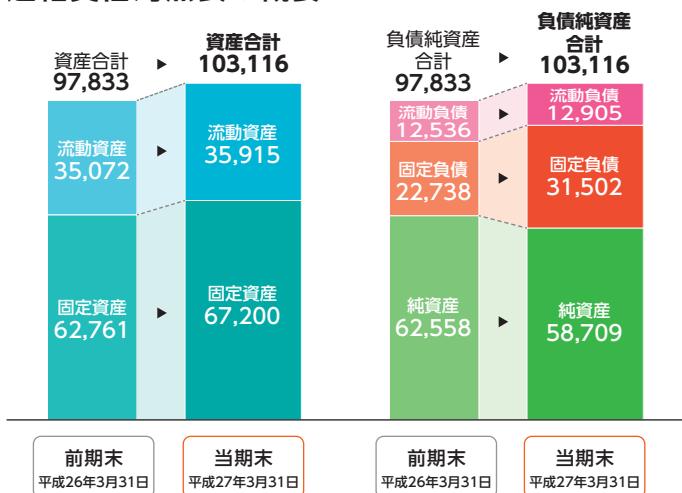


POINT

- ▶ テレビタイム収入は増加したものの、テレビスポット収入や催物収入、子会社の通販売上の減収等により、売上高は7億9千2百万円(1.0%)の減収となりました。
- ▶ 費用面では、売上原価が5億1千4百万円(1.0%)増加し、販売費及び一般管理費が2億円(0.9%)減少しました。
- ▶ 以上の結果、営業利益は11億6百万円(19.1%)の減益、経常利益は11億9千5百万円(19.8%)の減益、当期純利益は税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩し等の影響もあり、10億5千1百万円(32.3%)の減益となりました。

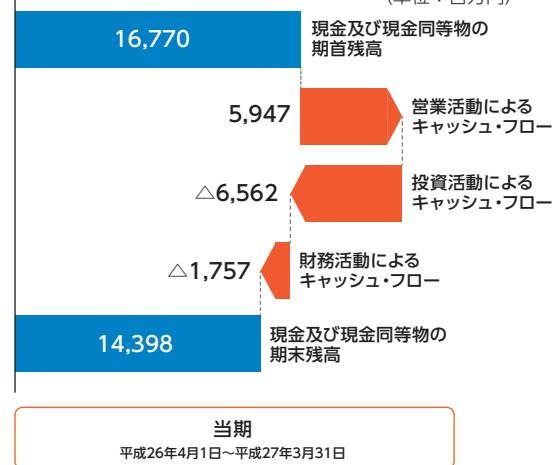
(比較はすべて前年同期比)

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



株式データ

株式の概況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 144,000,000株

発行済株式総数 41,833,000株

株主数 13,334名

大株主

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900株	14.9%
株式会社テレビ朝日ホールディングス	3,877,600	9.3
公益財団法人香雪美術館	2,930,000	7.0
学校法人帝京大学	1,554,000	3.7
朝日新聞信用組合	1,500,000	3.6
大阪瓦斯株式会社	1,065,000	2.5
日本生命保険相互会社	1,005,200	2.4
近鉄バス株式会社	800,000	1.9
株式会社竹中工務店	776,600	1.9
株式会社りそな銀行	763,500	1.8

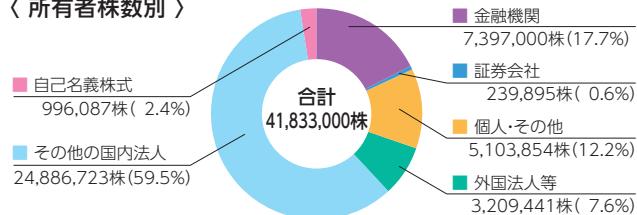
(注)当社は、自己株式996,087株を保有しており、持株比率は自己株式を含めて計算しています。

剰余金の配当に関する事項

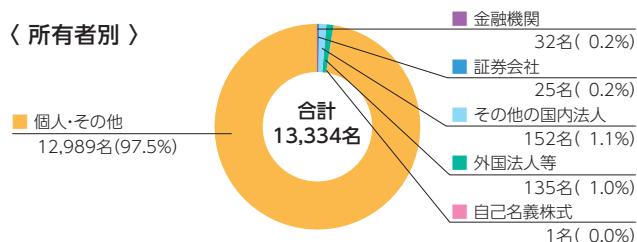
		当期 (平成27年3月期)	前期 (平成26年3月期)
1株当たり 配当金	中間期末	普通配当 6円	普通配当 6円
	期末	普通配当 6円 特別配当 4円 記念配当 2円	普通配当 6円 特別配当 4円
	年間	18円	16円

株式分布状況 (平成27年3月31日現在)

〈所有者株数別〉



〈所有者別〉



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

証券コード 9405

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
 (http://asahi.co.jp)

会社案内

会社の概況 (平成27年3月31日現在)

会社名	朝日放送株式会社 Asahi Broadcasting Corporation
創立	昭和26年3月15日
資本金	52億9,980万円
従業員数	655名
事業内容	放送法によるテレビ放送事業およびラジオ放送事業 他
本社	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)
東京支社	〒104-0045 東京都中央区築地五丁目3番2号 朝日新聞新館10階
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目14番7号 RICCO栄9階
パリ支局	52 Avenue des Champs-Élysées 75008 Paris,FRANCE
上海支局	Rm.721 Shanghai Central Plaza, 381 Huai Hai Rd.(M), Shanghai,CHINA 200020

役員 (平成27年6月25日現在)

代表取締役社長	脇阪 聰史
常務取締役	沖中 進
常務取締役	山本 晋也
常務取締役	松田 安啓
取締役(社外取締役)	山口 昌紀
取締役(社外取締役)	坂井 信也
取締役(社外取締役)	尾崎 裕
取締役(社外取締役)	小林 研一
取締役(社外取締役)	吉田 慎一
取締役(社外取締役)	後藤 尚雄
取締役	千原 邦義
取締役	緒方 謙
取締役	持田 周三
取締役	美田 政志
取締役	山田 裕之
常勤監査役	三上 正弘
常勤監査役	菅野 公一郎
監査役(社外監査役)	野村 正朗
監査役(社外監査役)	佐藤 茂雄
監査役(社外監査役)	平澤 正英

会社案内

テレビネットワーク

ANN (All-nippon News Network)



ラジオネットワーク

JRN (Japan Radio Network)
TBSラジオ&コミュニケーションズ

NRN (National Radio Network)
文化放送
ニッポン放送

朝日放送のあゆみ

1951年(昭和26年)	3月15日 11月11日	朝日放送株式会社設立 ラジオ本放送開始
1955年(昭和30年)	5月25日	大阪テレビ放送株式会社(OTV)設立
1956年(昭和31年)	12月 1日	OTVテレビ本放送開始
1959年(昭和34年)	6月 1日	朝日放送・大阪テレビ放送合併
1960年(昭和35年)	9月10日	テレビカラー放送開始
1961年(昭和36年)	10月 1日	株式を大阪証券取引所第二部に上場
1966年(昭和41年)	6月 1日	大阪市大淀区に社屋移転
1969年(昭和44年)	10月10日	株式会社ホテルプラザ開業(1999年3月31日閉鎖)
1975年(昭和50年)	3月31日	テレビネットワーク変更 ANN(All-nippon News Network)に加盟
1978年(昭和53年)	11月23日	ABCラジオ周波数変更 1010kHzから1008kHzに
1979年(昭和54年)	3月21日	テレビ音声多重放送開始
1982年(昭和57年)	10月14日	日本初のクラシック音楽専門ホール ザ・シンフォニーホール開館(2013年12月31日譲渡)
1985年(昭和60年)	10月 1日	ABCゴルフ倶楽部オープン
1986年(昭和61年)	4月 1日	文字放送(アナログテレビ)開始
2003年(平成15年)	12月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
2008年(平成20年)	6月23日	大阪市福島区に社屋移転(現社屋)
2011年(平成23年)	7月24日	アナログテレビ放送終了 地上デジタルテレビ放送に完全移行
2013年(平成25年)	7月16日	市場統合により 東京証券取引所第二部上場に移行
2014年(平成26年)	10月10日	株式を東京証券取引所第一部に上場

関連会社一覧

(株)エー・ビー・シーメディアコム

通信販売業務、ラジオ番組制作、音楽出版

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス2階
Tel.(06)6458-8811

(株)エー・ビー・シーリブラ

TV番組企画・制作、映像の保存・保管

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス5階
Tel.(06)6452-3666

(株)ABCゴルフ倶楽部

ゴルフ場運営

〒673-1313 兵庫県加東市永福933-20
Tel.(0795)47-1000

(株)スカイ・エー

CS放送事業

【本 社】〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3
ABCアネックス5階
Tel.(06)6452-1161

【東京支社】〒104-8011 中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社新館11階

エー・ビー・シー開発(株)

総合住宅展示場運営、HDC運営、
保険代理店業、広告代理店業

【本 社】〒553-0003 大阪市福島区福島6-20-12
Tel.(06)6451-1111

【東京支社】〒103-0022 中央区日本橋室町1-9-12
共同ビル2階

(株)デジアサ

デジタルコンテンツ制作、字幕制作

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス6階
Tel.(06)6457-6701

(株)アイネックス

制作技術、ポストプロダクション

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス4階
Tel.(06)6452-2018

(株)エー・ビー・シー興産

警備・受付業務

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス4階
Tel.(06)6451-9155

ABC

<http://asahi.co.jp>

エビシーだよ!
よろしく!



UD
FONT
by MORISAWA

